

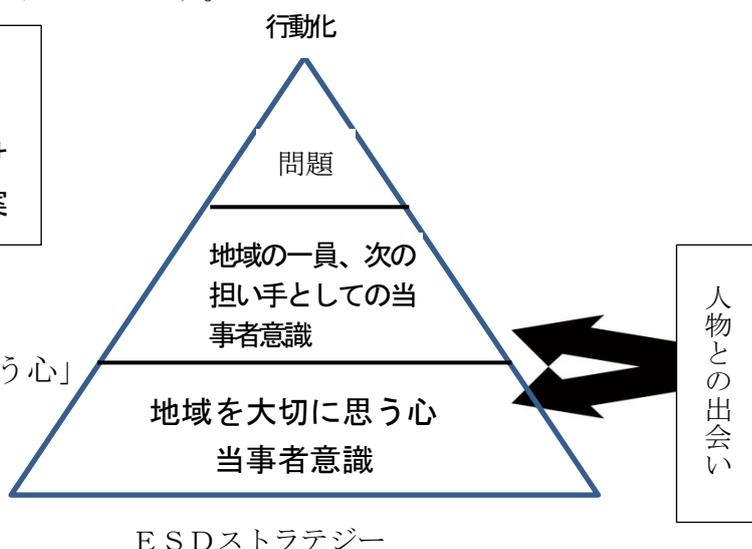
開催日時 11月26日(木)  
会場 彦根市民会館第3会議室

### 1. 前回の振り返り

ユネスコはESDの推進機関として指名されています。  
ESDは持続可能な社会の担い手を育てるための教育です。  
ESDでは理解するだけでなく行動化を求めています。

- ・ ライフスタイルの変革
- ・ 地域活動への参加・参画
- ・ 持続可能な社会づくりの呼びかけ
- ・ 持続可能な社会づくりの政策提案

行動化を促すためには、「地域を大切に思う心」を養い、次世代の地域の担い手としての当事者意識をもたせることが必須条件。



「地域を大切に思う心」を養うためには、地域人材を通して、「地域のよさ（文化遺産、伝統行事、自然環境）」などに出会わせることが効果的です。

### 2. 地域の自然環境について

子どもたちは、今の自然環境が「当たり前」であると思っています。かつてはもっと生き物がいっぱい、生き物とのふれあいが楽しかったことを教えてあげてください。楽しそうに語っていただくことで、子どもたちは「あこがれ」をもち、昔のよい自然環境に戻すためには、どうすればよいかを考え、調べ、行動化していきます。

◇資料「里地・里山の価値」の①～⑧で知っている生き物（動物・植物・昆虫）などを協力して書いてください。

## 2. 子どもに伝えたい彦根の文化

### (1) 風景など

- ・彦根城 3
- ・彦根城の外堀 2
- ・ヒノキ並木
- ・矢倉川・芹川・犬上川・宇曾川
- ・三叉路の多い城下町の街並み 2
- ・城郭のある風景

### (2) 祭り

- ・えびす講 3
- ・鳥人間コンテスト
- ・花火大会（彦根、高宮、愛知川）
- ・お城まつり 2
- ・ゆかたまつり
- ・ヨシまつり
- ・地藏盆 2
- ・各町内の神社の祭り 2
- ・ご当地キャラ博
- ・彦根ばやし

### (3) 食文化

- ・鮎ずし 3
- ・埋もれ木 2
- ・赤かぶ
- ・三十五万石
- ・近江牛（江戸時代の献上品） 2

### (4) 伝説

- ・招き猫伝説
- ・お菊の皿（長久寺）

### (5) その他

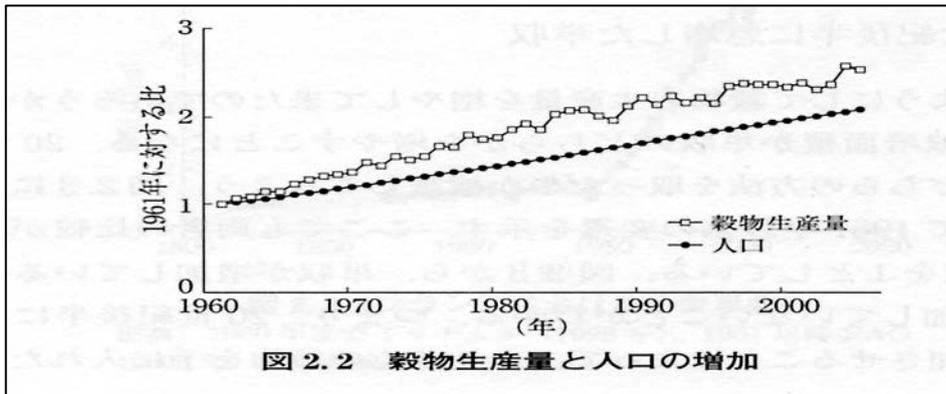
- ・琵琶湖の清掃活動
- ・井伊直弼のお茶
- ・十王の水
- ・彦根仏壇
- ・歴史のロマン



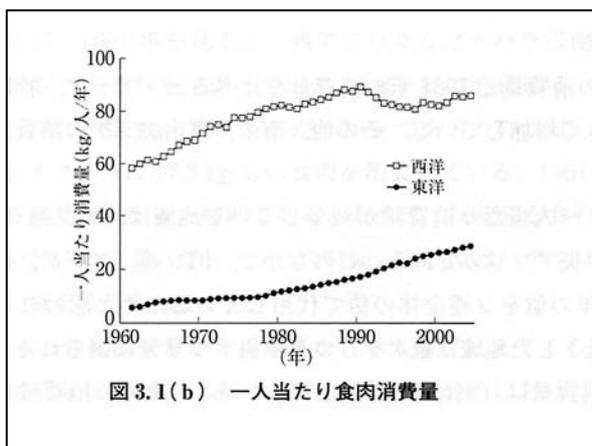
### 3. 食べ物について考える

#### (1) 食料は不足しているのか

世界では、8億人以上の人々が栄養不足の状態にある。



人口増加より穀物生産量の増加が上回っているため、1960年に比べて、食糧事情は改善されているはず。しかしそうはなっていない。



西洋においても登用においても、食肉消費量が増えている。

①牛肉 1 キログラム増やすためには、穀物飼料は 8 キログラム必要。

②豚肉 1 キログラム増やすためには、穀物飼料は 4 キログラム必要。

※ 穀物が飼料になってしまっている。

さらに、トウモロコシは「地球にやさしい (カーボンニュートラル)」オイル生産に向けられている。例えば、アメリカにおけるバイオエネルギー政策においては、トウモロコシのエタノール向け使用料は以下のように増大傾向にある。

2005/2006 年度 4040 万トン (14%)

2010/2011 年度 1 億 2750 万トン (40%)

アメリカのメリットを次の点から考える

- ①トウモロコシ輸出価格：価格上昇
- ②アメリカの石油輸入費：輸入量減少
- ③温暖化対策：アピールになる

#### (1) 食べ物の旬を知らない子どもたち：旬当てクイズ

トマト (夏)、ダイコン (冬)、エンドウマメ (春)、イチゴ (春)

ホウレンソウ (冬)、キュウリ (夏)、ピーマン (夏)

現行の小学校 5 年生の社会科の教科書でも、冬にビニールハウスで暖房をしてキュウリをつくることを「工夫」として取り上げられている。

#### (2) 季節外れの野菜を求める消費者が環境に与える影響

消費者が季節外れの農作物をもとめるので、農家はそれを栽培しようとする。

(3) フードマイレージを考える

- ① モロッコ産のタコ 200グラム 300円
- ② 明石産のタコ 200グラム 500円

※フードマイレージとは、重さ×距離＝トン・キロメートルで表す環境指標のひとつ  
フードマイレージが大きいものは、

- ・商品の移動のためにエネルギーをたくさん使っている。
- ・CO2をたくさん排出している。

①モロッコ産のタコのフードマイレージ

$$0.0002 \text{ トン} \times 18838 \text{ km} = 3.7676 \text{ トン} \cdot \text{km}$$

②明石産のタコのフードマイレージ

$$0.0002 \text{ トン} \times 92 \text{ km} = 0.0184 \text{ トン} \cdot \text{km}$$

(4) 国産食品を購入するメリット

- ①移動のためのエネルギー消費・CO2排出量が少ない。
- ②地産地消の場合、地域の経済の活性化・雇用の創出につながる。
- ③輸入相手国の自然環境を守ることになる。

地球にやさしいパームオイルを生産するために、熱帯雨林が破壊され、パームヤシのプランテーションが広がっている。

(5) 食料自給率から考える

1960年頃の食料自給率は80%弱

現在は、(39)% (先進国で最低) なぜ、こうなったのか？

※特に問題な穀物自給率

国名	オーストラリア	フランス	アメリカ	ドイツ	インド	中国	北朝鮮	日本
自給率 (%)	241	174	125	124	104	103	77	26

※パン食が広がったことで、食事スタイルが西洋化している。

日本の食料事情

年間 5500 万トンの食料を世界中から買い集めている。

年間 1800 万トンの食べ物を捨てている。

※ 世界の食料援助総量 470 万トン (WFP)

(6) 食べ残しが環境に与える影響

- ・化石燃料の使用量が増える。
- ・二酸化炭素の排出量が増える。

(7) 地域のユネスコ協会ならでの活動

子どもたち、若い保護者に伝えていただきたいこと

- ①季節外れのもののは欲しがらない
- ②米・魚・野菜の食事に
- ③食べ残しはしない